

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち				
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり				
基本施策	社会教育環境の充実				
取り組み事項	文化芸術の振興を図る				
主管部局	教育委員会 生涯学習課	関連部局	体育振興課		

めざす暮らしの姿

市民一人ひとりがライフステージに応じて自主的・自発的に学習活動を行い、心豊かで充実した生活を送っている姿をめざす。

基本方針

市民が文化芸術や市内にある貴重な文化財に触れる機会、文化活動に参加し個性・創造性を伸ばせる機会を提供します。

施策の方針

文化会館で多様なイベントを開催し、市民に文化芸術に触れる機会を提供します。また、市民の自主的な文化芸術活動を支援するとともに、文化団体及び市民グループの育成を図ります。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	4.39	3.44	4.58	4.31	4.27	4.27
会計年度任用職員数	2.38	3.85	4.03	3.78	3.78	3.78
人件費計	33,144,535	31,954,580	35,752,165	37,406,524	37,126,369	37,126,369
事業費計	88,328,256	114,988,533	109,014,505	123,557,000	112,666,000	124,176,000
フルコスト	121,472,791	146,943,113	144,766,670	160,963,524	149,792,369	161,302,369

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定国庫支出金		5,000,000			0	0
特定県支出金					0	0
特定市債					0	0
特定その他	10,256,700	12,070,000	12,070,000	12,070,000	12,070,000	0
一般財源1	111,216,091	129,873,113	132,696,670	148,893,524	137,722,369	161,302,369
一般財源2	78,071,556	97,918,533	96,944,505	111,487,000	100,596,000	124,176,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	文化協会会員数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
単年度実績値	1,070	1,089	1,123			
単年度達成率	89.16%	90.75%	93.58%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	文化協会会員数
前年度との比較	↑：向上
所見	新規加入団体もあり、会員数は増加傾向にある。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
	担当者所見	方向性及び所見	
文化振興補助金事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	団体数、会員数ともに毎年増加しているので、今後も継続して新規団体の入会を推進するとともに、活発な芸術文化活動を促進していく。	協会員の高齢化が進んでいるが、ここ数年、相生市文化協会に新規加盟する団体がある。 引き続き、市の文化振興の主要団体である相生市文化協会への運営補助を行い、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、文化系活動助成により、文化協会に属していない団体にも幅広く支援を行う。	
スポーツ・文化芸術顕彰事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	今後も継続し、文化活動を行う者の一目標としていく。	引き続き、優れた取り組みに対して顕彰を行い、市民の芸術文化活動への関心を高める。	
文化振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	文化協会の団体数が増えたことで、文化祭に参加希望の団体が増えたことから、開催方法や開催時期について検討した上で事業を進めていく必要がある。	文化祭・美術展を開催することは文化芸術の担い手である市民の豊かな創造性や感性を育み、文化芸術に対する意識の向上を図るために必要である。	
相生市文化会館管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	市内だけでなく市外からも多く来館してもらえるような事業を創出するとともに、来館者にとって満足度の高い会館運営を継続して実施していく。また、中長期修繕計画に基づいて計画的に設備の更新を行い、安心安全に利用できる会館を目指していく。	引き続き鑑賞と発表の両面から多様なジャンルの自主事業を計画し、市民を中心に多くの方々に質の高い文化芸術に親しむ機会の創出を図る。	
文化財事業	A:拡大	A:拡大	A
	市域に存在する貴重な文化財を適切に保存するとともに、特別展や歴史講座・史跡めぐりを通して啓発することで、市民が郷土の歴史文化に理解と愛着を深め、郷土愛の醸成に努める。	市域に存在する貴重な文化財の保存・啓発は市の責務である。 引き続き、歴史講座・史跡めぐり等を通して、ふるさと相生の歴史文化の理解を深めるとともに、郷土愛の醸成に努める。	
資料館管理事業	A:拡大	A:拡大	A
	郷土の歴史文化の啓発の充実を図るためにも、貴重な資料を適切に展示・保存するための環境を整える必要がある。	引き続き、市域に存在する貴重な資料等を適切に保存・展示できる環境を整備・維持するとともに、常設展示、特別展の充実に努める。	
スポーツ・文化芸術顕彰事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	今後も功績に相応した顕彰を贈呈していく。	引き続き、優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民の文化芸術活動への関心を高める。	

評価対象外の構成事務事業一覧

[illegible]

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
文化協会会員数	93.58%	↑: 向上	93.58%
利用者数	102.6%	↑: 向上	102.6%
自主事業来場者数	92.15%	↑: 向上	92.15%
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	96.11%	中	保留
	達成状況の原因分析、説明等		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい 学芸員を1名採用することができた。また、文化会館の自主事業は幅広い世代が参加できる催しを計画どおりに開催し、事業を進めることができた。
構成事務事業に課題はないか	ない
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	文化協会に2団体が新規加入し、より一層、市民の文化芸術活動が活発になっている。今後も、文化芸術活動を担う市民の活動を支援できる環境の確保に努める。
今年度の成果等	文化会館利用状況については、利用人数、自主事業来場者数ともに前年より増加し、コロナ前の水準まで回復した。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち				
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり				
基本施策	社会教育環境の充実				
取り組み事項	人権啓発活動を推進する				
主管部局	教育委員会 人権教育推進室	関連部局			

めざす暮らしの姿

市民の生活スタイルの多様化に伴い、市民の学習ニーズは多様化しています。めざす暮らしの姿として、市民一人一人が自主的・自発的に活動を行い、心豊かで充実した生活を送っていくためには、ライフステージに応じた学習機会の一層の充実と多様な文化芸術及び郷土の歴史文化に触れる機会を充実させます。

基本方針

人権学習の場の整備や学習内容の充実を図り、現代の議題に応じた学習プログラムを提供します。また、学習の成果が発揮できるよう、生涯にわたり自らを高めることができる環境づくりに努めます。

施策の方針

市民人権学習、人権の集いの実施、啓発情報誌「ひとみ」の発行など、市民一人一人が人権意識を高め、人権問題に対する正しい理解と認識を深める取組の充実を図ります。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.85	0.85	0.8	1.1	0.8	0.8
会計年度任用職員数	0.9	0.9	0.9	1.0	0.0	0.0
人件費計	7,035,968	7,820,604	6,538,661	9,614,269	5,603,104	5,603,104
事業費計	4,904,251	4,927,299	5,230,920	6,629,000	6,629,000	6,629,000
フルコスト	11,940,219	12,747,903	11,769,581	16,243,269	12,232,104	12,232,104

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定国庫支出金		0			0	0
特定県支出金	162,000	542,000	542,000	470,000	470,000	470,000
財源市債					0	0
財源その他					0	0
一般財源1	11,778,219	12,205,903	11,227,581	15,773,269	11,762,104	11,762,104
一般財源2	4,742,251	4,385,299	4,688,920	6,159,000	6,159,000	6,159,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	市民人権学習会への参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	1,800	1,800	1,800	2,000	2,100	2,100
単年度実績値	1,867	1,672	2,066			
単年度達成率	103.72%	92.88%	114.77%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	市民人権学習会への参加者数
前年度との比較	↑：向上
所見	新型コロナウイルス感染症により、実施を中止していた団体が実施を再開してきている。今後は新しい団体に働きかけ、参加団体・人数ともに増やしていく。

構成事務事業の事後総合評価

[illegible]

評価対象外の構成事務事業一覧

[illegible]

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
市民人権学習会への参加者数	114.77%	↑: 向上	103.3%
人権の集いの参加者数	100.64%	↑: 向上	84.32%
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	107.71%	高	保留
	達成状況の原因分析、説明等		
	新型コロナウイルス感染症で中止や休止にしていた団体や参加者が以前の状況にもどってきている。		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい
	市民の人権意識の高揚に向けて事業を進めている。多様化・複雑化する人権問題に対する啓発情報誌の発行や市民人権学習での資料の提供などを行っている。
構成事務事業に課題はないか	ない
	性の多様性、高齢者問題など社会状況に応じたテーマを取り上げることにより、事業の有効性を高めている。さらに、関係課室との連携方策も研究していく。
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	人権問題が多様化・複雑化する中で、市民向けの学習会、啓発事業、情報誌の発行は適切な手法と言える。年間を通じての市民人権学習会の実施、推進強調月間や人権週間などに合わせたイベントの開催、年4回に渡る情報誌の発行など、効果的な方法を選択できている。
今年度の成果等	これまで、人権について継続して取り組んできたことで、市民人権学習会が学びの場として認知されている。今後も地域の絆をつなぐことを大切にし、誰一人取り残されないような地域社会づくりに向け、社会状況とニーズに沿った情報や生涯にわたって人権を学ぶ場の提供をしていく。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち				
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり				
基本施策	社会教育環境の充実				
取り組み事項	生涯学習環境をつくる				
主管部局	教育委員会 生涯学習課	関連部局			

めざす暮らしの姿

市民一人一人が自主的・自発的に学習活動を行い、心豊かで充実した生活が送れることを目指す。

基本方針

市民が生涯にわたって学習活動が行えるよう、ライフステージに応じた学習プログラムを提供する。また、生涯学習施設の適切な修繕を行い長寿命化を図ることで、市民が安心して学ぶことのできる環境の維持に努める。

施策の方針

生涯学習の場の整備と学習内容の充実を図り、ライフステージに応じた学習プログラムの充実に努める。また、学習の成果が発揮できるよう、生涯にわたり自らを高めることが出来る環境づくりに努める。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.75	0.49	1.05	1.04	0.84	0.84
会計年度任用職員数	8.42	9.18	10.58	10.67	10.67	10.67
人件費計	16,947,111	17,194,170	22,662,709	27,663,733	26,262,958	26,262,958
事業費計	76,527,561	7,089,376	80,713,744	79,272,000	73,634,000	73,634,000
フルコスト	93,474,672	24,283,546	103,376,453	106,935,733	99,896,958	99,896,958

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定国庫支出金					0	0
特定県支出金					0	0
財市債					0	0
源その他	877,000	1,303,000	1,303,000	1,303,000	1,303,000	1,303,000
一般財源1	92,597,672	22,980,546	102,073,453	105,632,733	98,593,958	98,593,958
一般財源2	75,650,561	5,786,376	79,410,744	77,969,000	72,331,000	72,331,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	公民館等施設利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000
単年度実績値	41,081	45,752	49,195			
単年度達成率	70.82%	78.88%	84.81%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	公民館等施設利用者数
前年度との比較	↑：向上
所見	受講者の高齢化が進んでいる。 幅広い年齢の方々が公民館活動に参加できるよう講座の内容について検討を要するとともに、同好会活動の活発化を図る。

構成事務事業の事後総合評価

[illegible]

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
社会教育事業	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
公民館等施設利用者数	84.81%	↑ : 向上	98.39%
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	84.81%	中	保留
	達成状況の原因分析、説明等		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい
	公民館活動講座、金ヶ崎学園大学ともに、当初の計画どおり進めることができた。
構成事務事業に課題はないか	ない
施策の総合評価	B: おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	インターネット等の普及により学びの形態が変化していく中で、集団で学ぶことの大切さを伝えていく。
今年度の成果等	
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち				
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり				
基本施策	社会教育環境の充実				
取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る				
主管部局	教育委員会 体育振興課	関連部局			

めざす暮らしの姿

社会教育環境の充実

基本方針

スポーツ施設を活用し、誰もがライフステージに合わせてスポーツを生活に取り入れ、健康で文化的な生活が送れるようスポーツ活動の推進を図ります。

施策の方針

スポーツ施設について、施設の計画的な整備改修と管理運営に努めます。
誰もがライフステージに合わせてスポーツを楽しめるよう、スポーツ教室や大会などイベントを実施します。また、体育協会や地域スポーツクラブなどの活動を支援します。
市民自らが主人公としてスポーツ活動を推進していくため、地域スポーツの担い手・リーダー発掘と育成に努めます。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	3.74	3.74	3.74	3.74	3.19	3.19
会計年度任用職員数	0.77	0.77	0.77	0.77	0.75	0.75
人件費計	26,466,040	29,738,335	25,418,352	27,665,210	23,774,877	23,774,877
事業費計	64,617,497	70,836,683	154,576,999	142,248,000	60,747,000	60,697,000
フルコスト	91,083,537	100,575,018	179,995,351	169,913,210	84,521,877	84,471,877

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定国庫支出金		2,000,000			0	0
特定県支出金					0	0
財市債		7,300,000	140,500,000	61,500,000	0	0
源その他	4,731,610	5,052,000	5,634,000	5,524,000	5,524,000	5,524,000
一般財源1	86,351,927	86,223,018	33,861,351	102,889,210	78,997,877	78,947,877
一般財源2	59,885,887	56,484,683	8,442,999	75,224,000	55,223,000	55,173,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	スポーツ施設利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	221,400	221,400	221,400	221,400	221,400	221,400
単年度実績値	184,927	216,106	224,227			
単年度達成率	83.52%	97.6%	101.27%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	スポーツ施設利用者数
前年度との比較	↑：向上
所見	多彩な事業を行い、施設利用者が増加した。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
	担当者所見	方向性及び所見	
市民体育館管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識を持って管理していく。	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるように意識を持って管理していく。	
市民プール管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。	指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。	
市民グラウンド管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	利用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の削減に努める。	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の削減に努める。	
温水プール管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。	
社会体育振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	市民一人ひとりが年齢や体力に応じて、生き生きとスポーツを行えるよう継続して実施していく。	市民一人ひとりが年齢や体力に応じて、生き生きとスポーツを行えるように支援することは重要であるため継続して実施していく。	
ジュニアスポーツ振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	スポーツを通じた青少年育成の観点からもスポーツを楽しむことのできる環境の場を提供していくことが必要である。	生涯にわたりスポーツが楽しめるよう、幼少期からスポーツに触れる機会の提供や、ジュニアを対象としたスポーツ教室や大会などを実施していくことが必要である。	
レクリエーションスポーツ振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。	
スポーツ教室事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	スポーツを気楽に楽しめる機会と場を通じて、健康及び体力の保持のみならず、自分もできるという経験から自信が生まれ、また、人と人との触れ合いから仲間意識や人の温かみを感じる機会が生まれる。	当事業は費用対効果に優れた事業である。スポーツ人口の裾野の拡大や市民が気楽にスポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続が必要である。	

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
社会体育費事務経費	
相生市スポーツ推進委員事業	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
スポーツ施設利用者数	101.27%	↑: 向上	
スポーツ教室参加者数	93.57%	↑: 向上	
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	97.42%	中	保留
	達成状況の原因分析、説明等		
	予定通り事業を行うことができた。今後も事業を展開し、子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツライフを楽しめる環境を作る。		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい スポーツ利用者、教室参加者ともに増加したため。
構成事務事業に課題はないか	ある 代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。
施策の総合評価	B: おおむね順調に進捗している 利用者頻度が高く、老朽化が進んでいる施設については、整備改修計画により施設の修繕を行う必要がある。 レクリエーションスポーツが市民にとって生きがいとなるよう、更に普及推進に努める。
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	
今年度の成果等	施設の管理運営については、利用者の安全確保に努めることができた。 屋内スポーツの拠点である市民体育館では、施設を安全かつ快適に利用できるようエレベーター設置等のバリアフリー化改修工事を行った。 温水プール及び西部市民プールでは、指定管理者の工夫や経営努力により利用者数の増加に努めた。
第三者評価委員会意見	

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201010001	事務事業名	文化振興補助金事業			
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり			
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る			
部名	教育委員会	課名	生涯学習課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	芸術文化団体が行う創作発表事業に対して助成を行う。					
対象	市内を活動の基盤とする芸術文化団体					
目的	市民の芸術文化活動を支援することにより、本市の芸術文化活動の一層の活性化を図ることを目的としている。					
事務事業類型	施設等整備事業(ハード事業)					
関連計画	教育振興基本計画					
根拠法令	法律・政令・省令					
	文化芸術振興基本法					

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.09	0.09	0.18	0.11	0.11	0.11
会計年度任用職員数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計		610,790	688,488	1,167,823	770,426	770,426	770,426
事業費計		622,000	590,000	870,000	940,000	940,000	940,000
フルコスト		1,232,790	1,278,488	2,037,823	1,710,426	1,710,426	1,710,426

(2) 歳入

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源		1,232,790	1,278,488	2,037,823	1,710,426	1,710,426	1,710,426
事業費計ー特定財源		622,000	590,000	870,000	940,000	940,000	940,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【質】文化協会会員数					
単位		人					
指標数値のめざす方向		増加					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		1,200	1,200	1,250	1,250	1,250	1,250
単年度実績値		1,070	1,089	1,223			
前年比		—	101.77%	112.3%	—	—	—
単年度達成率		89.16%	90.75%	97.84%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	1,027.325	1,065.4067	1,630.2584	1,368.3408	1,368.3408	1,368.3408
単年度実績値	1,152.1402	1,174.0018	1,666.2494			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A:妥当性が高い	市民のさらなる文化意識の向上には、市の支援が不可欠である。	あり
有効性	A:有効性が高い	多種多様な芸術文化団体を支援することで、本市の芸術文化活動が活性化し、文化振興の目的を達成できる。高齢化等により、各団体の会員数が減少傾向にある。	あり
効率性	B:比較的効率的である	補助金の適正化を検討していく。	あり
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	各団体の活動に対して検証と見直しを訴え、成果の向上を促すとともに、新規団体の入会を推進する。	あり
透明性	B:比較的透明性を確保している	文化協会加入団体が増え、組織として拡大をするよう努めている。	あり

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	団体数、会員数ともに毎年増加しているので、今後も継続して新規団体の入会を推進するとともに、活発な芸術文化活動を促進していく。
休止・廃止となったときの影響	各団体の自主事業が行いにくくなり、相生市の文化芸術が衰退していく。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	協会員の高齢化が進んでいるが、ここ数年、相生市文化協会に新規加盟する団体がある。引き続き、市の文化振興の主要団体である相生市文化協会への運営補助を行い、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、文化系活動助成により、文化協会に属していない団体にも幅広く支援を行う。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201010002	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業			
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり			
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る			
部名	教育委員会	課名	生涯学習課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	相生市の文化芸術の振興にあたり、権威ある大会等において成績が顕著な者に対し、文化芸術顕彰を贈呈する。					
対象	権威ある大会等において成績が顕著な者					
目的	市民に顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となり、市民の文化活動レベルの向上が期待される。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	法律・政令・省令・条例・規則・要綱					
	文化振興芸術基本法 相生市文化芸術顕彰に関する要綱					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.03	0.03	0.04	0.05	0.05	0.05
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	203,596	229,496	259,516	350,194	350,194	350,194
事業費計	76,000	103,710	89,970	216,000	216,000	216,000
フルコスト	279,596	333,206	349,486	566,194	566,194	566,194

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	279,596	333,206	349,486	566,194	566,194	566,194
事業費計ー特定財源	76,000	103,710	89,970	216,000	216,000	216,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【質量】受賞者数					
単位		人					
指標数値のめざす方向		増加					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		4	4	4	4	4	4
単年度実績値		2	2	2			
前年比		—	100%	100%	—	—	—
単年度達成率		50%	50%	50%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	69,899	83,301.5	87,371.5	141,548.5	141,548.5	141,548.5
単年度実績値	139,798	166,603	174,743			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市民のさらなる文化意識の向上には、市からの顕彰は必要である。	あり
有効性	B: 比較的有效である	文化活動レベルの向上が期待される。顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となりうる。	あり
効率性	B: 比較的效率的である	各学校や文化団体等、情報把握の効率性、正確性を高めていく。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	各文化団体などとの情報共有に努める。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	文化協会などへの周知をはじめ、各種文化芸術団体と連携を図る。	あり

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	今後も継続し、文化活動を行う者の一目標としていく。
休止・廃止となったときの影響	市民の文化芸術活動を行う目標のひとつがなくなってしまう。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き、優れた取り組みに対して顕彰を行い、市民の芸術文化活動への関心を高める。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201010003	事務事業名	文化振興事業			
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり			
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る			
部名	教育委員会	課名	生涯学習課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	文化祭・美術展を実施する。					
対象	市民					
目的	美術展など芸術文化にふれる機会を提供し、市民の自発的芸術文化活動が盛んに行われ、こころ豊かな生活が送れるようにする。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	法律・政令・省令 文化芸術振興基本法					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.82	0.82	0.76	0.61	0.61	0.61
会計年度任用職員数	0.08	0.21	0.21	0.14	0.14	0.14
人件費計	5,677,632	6,580,481	5,245,423	4,539,767	4,539,767	4,539,767
事業費計	2,494,717	2,534,204	2,535,758	2,516,000	2,516,000	2,516,000
フルコスト	8,172,349	9,114,685	7,781,181	7,055,767	7,055,767	7,055,767

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	8,172,349	9,114,685	7,781,181	7,055,767	7,055,767	7,055,767
事業費計ー特定財源	2,494,717	2,534,204	2,535,758	2,516,000	2,516,000	2,516,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質・量】文化祭及び美術展の出演出展者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	2,200	2,200	2,250	2,250	2,250	2,250
単年度実績値	2,191	2,285	2,216			
前年比	—	104.29%	96.98%	—	—	—
単年度達成率	99.59%	103.86%	98.48%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		出演者及び出展者数あたりのフルコスト				
単位		円／人				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	3,714.7041	4,143.0386	3,458.3027	3,135.8964	3,135.8964	3,135.8964
単年度実績値	3,729.963	3,988.9212	3,511.3633			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	美術展等芸術文化に触れる機会を提供し、市民が自発的に芸術文化活動を行うことにより、こころ豊かな生活が送れる。	なし
有効性	B: 比較的有效である	より多くの市民に優れた芸術文化の鑑賞、創作発表の機会を与える。文化の発展を促進するために、市内の参加率向上をめざす。文化会館の持つ機能を有効に活用し、より質の高い事業となるように文化会館管理係とも協力していく。	なし
効率性	A: 効率性が高い	委託事業とし、専門的な意見を取り入れることで効率的な運営を行った。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	市民のニーズを聞きながら、より多くの市民に参加していただけるよう見直しを行う。	あり
透明性	A: 透明性が高い	広報等を通じて、広く市民に参加していただけるよう情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	文化協会の団体数が増えたことで、文化祭に参加希望の団体が増えたことから、開催方法や開催時期について検討した上で事業を進めていく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	市民の文化芸術活動の発表の場が減ってしまう。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	文化祭・美術展を開催することは文化芸術の担い手である市民の豊かな創造性や感性を育み、文化芸術に対する意識の向上を図るために必要である。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201010004	事務事業名	相生市文化会館管理運営事業	
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり	
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る	
部名	教育委員会	課名	生涯学習課	
事業の開始	令和5年度	終了年度	なし	
実施の概要	文化会館の管理運営、その他条例で定められた管理運営事業を行い、文化芸術活動の提供を行う。			
対象	全市民			
目的	市民自らの文化活動を促し、市民の交流と文化の向上を図る場を提供する。			
事務事業類型	ソフト事業			
関連計画	教育振興基本計画			
根拠法令	条例・規則・要綱			
	相生市文化会館の設置及び管理に関する条例			

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

実績値					計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	2.06	2.06	2.06	2.08	2.04	2.04
会計年度任用職員数	1.56	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
人件費計	16,177,125	18,688,100	16,361,392	18,388,072	18,107,917	18,107,917
事業費計	80,330,734	98,901,596	100,637,011	114,579,000	103,500,000	115,010,000
フルコスト	96,507,859	117,589,696	116,998,403	132,967,072	121,607,917	133,117,917

(2) 歳入

単位: 人、円

実績値					計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	10,256,700	12,070,000	12,070,000	12,070,000	0
フルコストー特定財源		86,251,159	105,519,696	104,928,403	120,897,072	109,537,917
事業費計ー特定財源		70,074,034	86,831,596	88,567,011	102,509,000	91,430,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	150,000	150,000	150,000	160,000	160,000	160,000
単年度実績値	93,522	127,274	153,914			
前年比	—	136.08%	120.93%	—	—	—
単年度達成率	62.34%	84.84%	102.6%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	643.3857	783.9313	779.9894	831.0442	760.0495	831.987
単年度実績値	1,031.9268	923.9098	760.1544			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	コロナ禍からの回復状況に合わせた施設運営を行うと同時に例年の催しも全て滞りなく実施することができ、市民の交流と文化の向上を図る場としての役割を果たすことができた。	あり
有効性	A: 有効性が高い	会館の利用人数及び自主事業の来場者は、前年度と比較して増加し、コロナ前の数字にほぼ戻っている。令和5年度は、4年ぶりに全館を使った「こどもフェスティバルneo」を夏休み中に開催し、延べ1600人の子ども、家族連れが参加するなど、市内外多くの人が参加でき、催しが多かった。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	入場料が無料または格安の催しを多く取り入れることで、誰もが参加しやすい自主事業を計画的に実施することができた。また、自主事業の実施に係る助成金を県芸術文化協会から得るなど、事業コストの削減に努めた。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	ロビーコンサートのYoutube配信の質を高めながら継続し、その時には来場できない方に対しての利便性の向上を図っている。また会館のYoutube、facebook、LINE、共催者のSNS等を使って、事業の周知啓発を積極的に行うことができた。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	自主事業だけでなく、貸館事業の周知啓発を様々な媒体で定期的に発信している。また、事業の実施にあたって舞台や受付などを補助していただく「ボランティアスタッフ」を募集、育成しながら、市民参加のホール運営を継続して取り組んでいる。	あり

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市内だけでなく市外からも多く来館してもらえるような事業を創出するとともに、来館者にとって満足度の高い会館運営を継続して実施していく。また、中長期修繕計画に基づいて計画的に設備の更新を行い、安心安全に利用できる会館を目指していく。
休止・廃止となったときの影響	市民にとって多様なイベントや活動の場が制限されるとともに、市民が質の高い文化芸術に触れる機会が喪失される。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き鑑賞と発表の両面から多様なジャンルの自主事業を計画し、市民を中心に多くの方々に質の高い文化芸術に親しむ機会の創出を図る。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201010005	事務事業名	文化財事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市域に存在する文化財を適正に管理・保存する。		
対象	市域に存在する有形・無形・民俗文化財及び記念物		
目的	市民がふるさと相生の歴史文化に理解と興味を深め、郷土への愛着を深める。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令	法律・政令・省令・条例・規則・要綱 文化財保護法 兵庫県文化財保護条例 相生市文化財保護条例 相生市文化財保護条例施行規則		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.28	0.08	0.64	0.6	0.6	0.6
会計年度任用職員数	0.24	0.64	0.82	0.82	0.82	0.82
人件費計	2,238,207	1,549,383	5,380,744	5,768,528	5,768,528	5,768,528
事業費計	1,665,405	1,357,540	1,875,720	1,915,000	1,915,000	1,915,000
フルコスト	3,903,612	2,906,923	7,256,464	7,683,528	7,683,528	7,683,528

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	3,903,612	2,906,923	7,256,464	7,683,528	7,683,528	7,683,528
事業費計ー特定財源	1,665,405	1,357,540	1,875,720	1,915,000	1,915,000	1,915,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】市指定文化財の登録数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	1	1	1	1	1	1
単年度実績値	0	1	0			
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	100%	-	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1		【質】市指定文化財の登録に掛かるコスト				
単位		円/1件				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	3,903,612	2,906,923	7,256,464	7,683,528	7,683,528	7,683,528
単年度実績値		2,906,923				

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A:妥当性が高い	市域に存在する貴重な文化財を市民共通の財産として適切に保存し、後世に引き継ぐことは不可欠である。	あり
有効性	A:有効性が高い	計画的に指定文化財の指定を行うことは適切な文化財保護に繋がる。	あり
効率性	B:比較的効率的である	現在は最小限のコストで事業を実施してるため、事業の充実を図るためにはコストの拡大が不可欠である。	あり
改革・改善プラン達成度	A:改革改善効果が高い	学芸員の採用により、今後、事業の幅の広がりが期待できる。	あり
透明性	B:比較的透明性を確保している	これまで発行した「資料館だより」を合本し、資料の保存・啓発に努めた。	あり

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	A:拡大
所見	市域に存在する貴重な文化財を適切に保存するとともに、特別展や歴史講座・史跡めぐりを通して啓発することで、市民が郷土の歴史文化に理解と愛着を深め、郷土愛の醸成に努める。
休止・廃止となったときの影響	貴重な文化財が失われていく危険性が高い。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	A:拡大
所見	市域に存在する貴重な文化財の保存・啓発は市の責務である。 引き続き、歴史講座・史跡めぐり等を通して、ふるさと相生の歴史文化の理解を深めるとともに、郷土愛の醸成に努める。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201010006	事務事業名	資料館管理事業			
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり			
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る			
部名	教育委員会	課名	生涯学習課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	相生の歴史、美術・文芸作品等に関する貴重な資料の収集、保存、展示を行う。					
対象	市民					
目的	ふるさと相生の歴史文化に理解と興味を深め、郷土への愛着を育む。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画	教育振興基本計画					
根拠法令	条例・規則・要綱					
	相生市歴史民俗資料館条例 相生市歴史民俗資料館条例施行規則					

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.85	0.1	0.64	0.6	0.6	0.6
会計年度任用職員数		0.5	1.0	1.0	0.82	0.82	0.82
人件費計		6,472,681	2,229,664	5,650,411	5,768,528	5,768,528	5,768,528
事業費計		3,139,400	11,501,483	3,006,046	3,391,000	3,391,000	3,391,000
フルコスト		9,612,081	13,731,147	8,656,457	9,159,528	9,159,528	9,159,528

(2) 歳入

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	5,000,000	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源		9,612,081	8,731,147	8,656,457	9,159,528	9,159,528	9,159,528
事業費計ー特定財源		3,139,400	6,501,483	3,006,046	3,391,000	3,391,000	3,391,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【量】歴史講座及び史跡めぐりの述べ参加者数					
単位		人					
指標数値のめざす方向		増加					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		300	300	300	300	300	300
単年度実績値		290	304	349			
前年比		—	104.82%	114.8%	—	—	—
単年度達成率		96.66%	101.33%	116.33%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		【質】歴史講座及び史跡めぐりの参加者に係るコスト				
単位		円／1人				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	32,040.27	45,770.49	28,854.8567	30,531.76	30,531.76	30,531.76
単年度実績値	33,145.1069	45,168.2467	24,803.6017			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A:妥当性が高い	市民が郷土の歴史・文化・民俗に理解を深るために、市域に存する貴重な資料等を適切に保存し、展示・活用ことは重要である。	あり
有効性	A:有効性が高い	郷土資料を市民共通の財産として後世に引き継ぐことは市の責務である。	あり
効率性	B:比較的効率的である	資料館活性化サポート事業により、常設展、示特別展の充実、業務の効率化を図っている。	あり
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	学芸員の採用により、今後、より専門的な事業の推進が期待できる。	あり
透明性	B:比較的透明性を確保している	歴史講座、史跡めぐりの実施により、郷土の史跡・文化時財の啓発を行っている。	あり

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	A:拡大
所見	郷土の歴史文化の啓発の充実を図るためにも、貴重な資料を適切に展示・保存するための環境を整える必要がある。
休止・廃止となったときの影響	貴重な文化財が失われていく危険性が高い。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	A:拡大
所見	引き続き、市域に存在する貴重な資料等を適切に保存・展示できる環境を整備・維持するとともに、常設展示、特別展の充実に努める。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201010007	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業	
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり	
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る	
部名	教育委員会	課名	体育振興課	
事業の開始		終了年度	なし	
実施の概要	権威ある大会等において、成績が顕著な個人や団体に対しスポーツ顕彰の贈呈を行うことで、競技者の士気を高め、さらには各種目競技の普及推進、奨励を促す。			
対象	市民			
目的	各種目競技の普及推進、奨励を促す。			
事務事業類型	ソフト事業			
関連計画				
根拠法令	条例・規則・要綱			
	相生市スポーツ顕彰に関する要綱			

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26
会計年度任用職員数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計		1,764,504	1,988,968	1,686,856	1,821,009	1,821,009	1,821,009
事業費計		0	0	0	0	188,000	188,000
フルコスト		1,764,504	1,988,968	1,686,856	1,821,009	2,009,009	2,009,009

(2) 歳入

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源		1,764,504	1,988,968	1,686,856	1,821,009	2,009,009	2,009,009
事業費計ー特定財源		0	0	0	0	188,000	188,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【質】スポーツ顕彰受賞者数					
単位		人					
指標数値のめざす方向		維持					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		58	58	58	58	58	58
単年度実績値		24	24	24			
前年比		—	100%	100%	—	—	—
単年度達成率		41.37%	41.37%	41.37%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		スポーツ顕彰受賞者1人あたりのフルコスト				
単位		円／人				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	30,422.4828	34,292.5517	29,083.7241	31,396.7069	34,638.0862	34,638.0862
単年度実績値	73,521	82,873.6667	70,285.6667			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	各種目スポーツにおいて、成績の結果を顕彰することにより、受賞者にとって励みとなり今後の活躍に期待できる。	あり
有効性	A: 有効性が高い	教育委員会として顕彰制度の一本化を図り、「相生市スポーツ顕彰に関する要綱」として施行している。	あり
効率性	A: 効率性が高い	要綱に基づき、有識者の意見を聞きながら適正に運用できている。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	対象者を的確に把握することが求められる。	あり
透明性	A: 透明性が高い	定期的に各種スポーツ団体に対し該当者の照会を行っており、透明性が高い。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	今後も功績に相応した顕彰を贈呈していく。
休止・廃止となったときの影響	競技スポーツに取り組む人の努力にこたえる場がなくなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き、優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民の文化芸術活動への関心を高める。

事務事業評価シート

年度
5

1. 基本情報

事業番号	010201020001	事務事業名	人権啓発事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	人権啓発活動を推進する
部名	教育委員会	課名	人権教育推進室
事業の開始	平成21年度	終了年度	なし
実施の概要	市民人権学習、人権の集いの実施、啓発紙「ひとみ」の発行などを実施する。		
対象	すべての市民		
目的	市民一人ひとりが人権意識を高め、人権問題に対する正しい理解と認識を深める。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律／人権教育・啓発の推進に関する基本計画		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.85	0.85	0.8	1.1	0.8	0.8
会計年度任用職員数	0.9	0.9	0.9	1.0	0.0	0.0
人件費計	7,035,968	7,820,604	6,538,661	9,614,269	5,603,104	5,603,104
事業費計	4,904,251	4,927,299	5,230,920	6,629,000	6,629,000	6,629,000
フルコスト	11,940,219	12,747,903	11,769,581	16,243,269	12,232,104	12,232,104

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	162,000	542,000	542,000	470,000	470,000	470,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	11,778,219	12,205,903	11,227,581	15,773,269	11,762,104	11,762,104
事業費計ー特定財源	4,742,251	4,385,299	4,688,920	6,159,000	6,159,000	6,159,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】市民人権学習会への参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
単年度実績値	1,867	1,672	2,066			
前年比	—	89.55%	123.56%	—	—	—
単年度達成率	74.68%	66.88%	82.64%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	4,776.0876	5,099.1612	4,707.8324	6,497.3076	4,892.8416	4,892.8416
単年度実績値	6,395.4039	7,624.3439	5,696.7962			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	人権問題の解決に向け、市民の人権意識の高揚を図る事業を実施することは行政の責務である。また、社会的ニーズに応えるためにも、人権に関する有益な情報を提供し、市民の人権に対する関心を高めていくことが求められる。	なし
有効性	B: 比較的有效である	新たな人権問題や市民にとって身近な人権問題など、ニーズや社会状況に沿った啓発紙を作成し、市民に人権の学びの機会として認識が広がるなど成果を上げている。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	庁内連携を推進し、事業のPRやスタッフの協働を図ることで、事業実施に向けて効率性を高めることができた。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	市民の人権意識を高めることにより、地域のつながりを大切にし、安全・安心な暮らし、住みやすいまちづくりにつながっている。	なし
透明性	B: 比較的透明性を確保している	市民人権学習会において、各種団体に呼びかけることで、参加者の年齢層や所属などに広がりが見られる。また、啓発紙を全戸配布することで、広く市民に対して、人権を学ぶ機会を提供できている。啓発紙「ひとみ」の作成をした。(年4回)啓発紙「澄んだ瞳」を作成した。(年2回)	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	新型コロナウイルス感染症の影響で、参加人数が減少した事業もあったが、徐々に新型コロナウイルス感染症前の参加人数に戻ってきている。今後、より一層事業の充実を図り、市民の人権意識の醸成に努めたい。
休止・廃止となったときの影響	休止・廃止となった場合、市民の人権意識の荒廃と地域の絆が薄まることが危惧される。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民が参加しやすい環境を整え、同和問題やインターネットでの人権侵害をはじめ、さまざまな人権課題について考えるとともに、学びを通じて人と人とのつながりの大切さについて再認識し、住民間の絆を更に深める機会とする。今後も関係課室と連携し、啓発活動を進めていく。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201030003	事務事業名	公民館活動事業			
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり			
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる			
部名	教育委員会	課名	生涯学習課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	社会教育施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する					
対象	市民					
目的	市民が文化的生活を営む上での支えとなる					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画	教育振興基本計画					
根拠法令						

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.18	0.18	0.24	0.24	0.24	0.24
会計年度任用職員数	6.68	7.1	8.3	8.24	8.24	8.24
人件費計	10,628,476	11,776,183	13,991,726	17,419,331	17,419,331	17,419,331
事業費計	4,888,433	4,872,404	4,868,653	5,018,000	5,018,000	5,018,000
フルコスト	15,516,909	16,648,587	18,860,379	22,437,331	22,437,331	22,437,331

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	15,516,909	16,648,587	18,860,379	22,437,331	22,437,331	22,437,331
事業費計ー特定財源	4,888,433	4,872,404	4,868,653	5,018,000	5,018,000	5,018,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	定期講座、随時講座参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
単年度実績値	8,420	8,800	8,354			
前年比	-	104.51%	94.93%	-	-	-
単年度達成率	112.26%	117.33%	111.38%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1		参加者一人当たりコスト				
単位		事業費÷参加者数(定期+随時講座)				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	2,068.9212	2,219.8116	2,514.7172	2,991.6441	2,991.6441	2,991.6441
単年度実績値	1,842.8633	1,891.8849	2,257.6465			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	幅広い年代層に、生涯学習機会や社会参加を促し、心豊かな生活を過ごせるよう支援をする。	なし
有効性	A: 有効性が高い	市民のニーズに応えることはもとより、興味関心の幅を広げることができるように多様な講座を開催する。	なし
効率性	A: 効率性が高い	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている。	なし
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	年1回募集の定期講座に加え、随時講座を行い、市民が希望する内容の講座を受けられるように努めている。 また、公民館主催講座に加え、公民館を拠点に活動する同好会活動を支援している。	なし
透明性	A: 透明性が高い	広報あいおい、館内掲示、ちらしの配布、自治会での回覧等で情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民に積極的に公民館活動を周知し、公民館講座等の参加を促し、生涯学習活動を支援する。
休止・廃止となったときの影響	地域住民の文化的な活動に支障が出る。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	地域における生涯学習の拠点としてライフステージや時代のニーズに応じた講座を開設するとともに、地域コミュニティの拠点として同好会活動の活発化に努める。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201030005	事務事業名	多目的研修センター活動事業			
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり			
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる			
部名	教育委員会	課名	生涯学習課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	社会教育類似施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する					
対象	市民					
目的	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的を持った自主グループの活動の場の提供、地域学習の生涯学習、コミュニティ活動の場とする					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令						

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.09	0.09	0.24	0.16	0.16	0.16
会計年度任用職員数		1.34	1.42	1.72	1.72	1.72	1.72
人件費計		2,497,802	2,768,329	4,133,912	4,405,819	4,405,820	4,405,820
事業費計		835,850	824,602	840,396	878,000	878,000	878,000
フルコスト		3,333,652	3,592,931	4,974,308	5,283,819	5,283,820	5,283,820

(2) 歳入

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源		3,333,652	3,592,931	4,974,308	5,283,819	5,283,820	5,283,820
事業費計ー特定財源		835,850	824,602	840,396	878,000	878,000	878,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	定期、随時講座参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
単年度実績値	1,323	1,238	1,292			
前年比	—	93.57%	104.36%	—	—	—
単年度達成率	132.3%	123.8%	129.2%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	3,333.652	3,592.931	4,974.308	5,283.819	5,283.82	5,283.82
単年度実績値	2,519.7672	2,902.206	3,850.0836			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市民の文化活動に貢献する。	なし
有効性	A: 有効性が高い	市民のニーズに対応した講座を行っている。	なし
効率性	A: 効率性が高い	講師謝礼等、近隣自治体との調整を行っている。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	年1回募集の定期講座に加え、随時講座を実施し、市民が参加しやすい環境づくりをすすめている。	なし
透明性	A: 透明性が高い	広報あいおい、ちらし、館内掲示などで、情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	A: 拡大
所見	市民に積極的に公民館活動周知し、公民館講座等の参加を促し、生涯学習活動を支援する。
休止・廃止となったときの影響	市民の文化活動に、支障が出る。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	地域における生涯学習の拠点としてライフステージや時代のニーズに応じた講座を開設するとともに、地域コミュニティの拠点として同好会活動の活発化に努める。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201030006	事務事業名	図書館運営管理事業	
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり	
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる	
部名	教育委員会	課名	生涯学習課	
事業の開始		終了年度	なし	
実施の概要	図書館利用者の多様なニーズに応えた資料の整備を図り、利用者の求める資料を速やかに提供し、学習機会の充実を図るとともに自己学習を支援する。			
対象	市民等			
目的	市民一人ひとりがライフステージに応じた学習機会を得ることができ、その成果を地域のために活かすことのできる社会の実現			
事務事業類型	ソフト事業			
関連計画	教育振興基本計画			
根拠法令	図書館法 相生市立図書館の設置及び管理に関する条例 相生市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則			

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.26	0.21	0.0	0.1	0.0	0.0
会計年度任用職員数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計		1,764,504	1,606,474	0	700,388	0	0
事業費計		69,293,996	62,330,154	73,890,711	71,737,000	66,435,000	66,435,000
フルコスト		71,058,500	63,936,628	73,890,711	72,437,388	66,435,000	66,435,000

(2) 歳入

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	3,000,000	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源		71,058,500	60,936,628	73,890,711	72,437,388	66,435,000	66,435,000
事業費計ー特定財源		69,293,996	59,330,154	73,890,711	71,737,000	66,435,000	66,435,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【量】貸出利用者数					
単位		人					
指標数値のめざす方向		増加					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
単年度実績値		30,577	30,706	26,891			
前年比		-	100.42%	87.57%	-	-	-
単年度達成率		101.92%	102.35%	89.63%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1						
単位		フルコスト÷貸出利用者数				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	2,368.6167	2,131.2209	2,463.0237	2,414.5796	2,214.5	2,214.5
単年度実績値	2,323.9199	2,082.2194	2,747.7859			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	図書館法に基づき、住民等が求めている情報、資料等を無料で提供する使命がある。	あり
有効性	A: 有効性が高い	図書館におけるライフステージに応じた学習機会の提供は、生涯学習環境の充実につながる。	あり
効率性	A: 効率性が高い	指定管理者制度を導入することで、民間企業の持つノウハウを活かし効率的な運営を行っている。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	貸出利用者1人あたりの貸出冊数は増加した。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ライフステージに応じた学習機会に対応できるよう、読書推進に関する多様な事業を実施した。	あり

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き、指定管理者との協議・調整により円滑な管理運営を図る。
休止・廃止となったときの影響	市民の生涯学習の場が失われる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	図書館が「生涯学習の拠点」としての役割を今後も担えるよう、サービスの充実を図る。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201030007	事務事業名	高齢者教育事業			
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり			
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる			
部名	教育委員会	課名	生涯学習課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	午前中に教養講座、午後に専門講座(歴史・園芸・保健体育)を年10回実施している。また、年2回公開講座として、一般の方も参加可能な講座を実施している。					
対象	満60歳以上の市民					
目的	高齢者の生涯学習を行うことで、生きがいを持って自立した生活がおくれる。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令						

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.22	0.22	0.57	0.44	0.44	0.44
会計年度任用職員数		0.4	0.66	0.56	0.71	0.71	0.71
人件費計		2,056,329	2,649,658	4,537,071	4,437,807	4,437,807	4,437,807
事業費計		1,199,142	1,253,860	1,048,024	1,303,000	1,303,000	1,303,000
フルコスト		3,255,471	3,903,518	5,585,095	5,740,807	5,740,807	5,740,807

(2) 歳入

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	877,000	1,303,000	1,303,000	1,303,000	1,303,000	1,303,000
フルコストー特定財源		2,378,471	2,600,518	4,282,095	4,437,807	4,437,807	4,437,807
事業費計ー特定財源		322,142	-49,140	-254,976	0	0	0

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【質】自治会開催数					
単位		回数					
指標数値のめざす方向		増加					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		10	10	10	10	10	10
単年度実績値		7		6			
前年比		-	-	-	-	-	-
単年度達成率		70%	-	60%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	325,547.1	390,351.8	558,509.5	574,080.7	574,080.7	574,080.7
単年度実績値	465,067.2857		930,849.1667			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	高齢化率の高い本市において、ニーズが非常に高いため地域社会での高齢者の活動の場を広げるために必要である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	高齢者が参加しやすい学習活動の場や機械を提供し、積極的な参加を促している。	なし
効率性	A: 効率性が高い	交通費のかからない近隣在住講師などの活用。	なし
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	高齢者が積極的に事業に参加できるよう促し、達成感を感じられるようにした。	なし
透明性	A: 透明性が高い	広報折込チラシで学生を募集している。また年2回の公開講座を実施し、受講生だけではなく、一般市民の参加を募っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	高齢者の心身ともに健康で自立する心を養い充実した人生の創造と、地域社会のリーダー的役割を果たす人材の育成に努める。
休止・廃止となったときの影響	高齢者の社会的孤立が起こる可能性がある。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	新たな学びを通して自己を高めるとともに、長い人生の中で培った経験を地域社会で活かすことができるように努める。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201040001	事務事業名	市民体育館管理運営事業			
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり			
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る			
部名	教育委員会	課名	体育振興課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	市民体育館の管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。					
対象	市民、市民体育館利用者					
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、様々なスポーツ活動が展開される場を提供する。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	条例・規則・要綱					
	相生市民体育館条例 相生市民体育館条例施行規則					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34
会計年度任用職員数		0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
人件費計		2,462,332	2,762,072	2,370,685	2,591,419	2,591,419	2,591,419
事業費計		15,868,965	22,408,923	59,893,256	18,689,000	18,689,000	18,689,000
フルコスト		18,331,297	25,170,995	62,263,941	21,280,419	21,280,419	21,280,419

(2) 歳入

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	7,300,000	140,500,000	0	0	0
	その他	2,180,373	2,368,000	2,800,000	2,900,000	2,900,000	2,900,000
フルコストー特定財源		16,150,924	15,502,995	-81,036,059	18,380,419	18,380,419	18,380,419
事業費計ー特定財源		13,688,592	12,740,923	-83,406,744	15,789,000	15,789,000	15,789,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【質】市民体育館利用状況					
単位		人					
指標数値のめざす方向		維持					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		100,000	100,000	100,000	10,000	10,000	10,000
単年度実績値		68,259	75,899	80,082			
前年比		-	111.19%	105.51%	-	-	-
単年度達成率		68.25%	75.89%	80.08%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1		市民体育館利用者1人あたりのフルコスト				
単位		円／人				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	183.313	251.71	622.6394	2,128.0419	2,128.0419	2,128.0419
単年度実績値	268.555	331.638	777.5023			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	利用団体との協働により、良好な施設活用が図られている。	あり
有効性	B: 比較的有效である	競技場をはじめ昨年度並みの各室の利用があった。	あり
効率性	A: 効率性が高い	平日夜間、休日の体育館受付業務をシルバー人材センターに委託し、執行体制は効果的である。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B: 比較的可見性を確保している	ホームページや広報誌により、イベント情報等の情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識を持って管理していく。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツも場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるように意識を持って管理していく。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201040002	事務事業名	市民プール管理運営事業			
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり			
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る			
部名	教育委員会	課名	体育振興課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	指定管理者制度により民間事業者による、市民プール維持管理運営業務を行う。					
対象	市民、市民プール利用者					
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行う。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	条例・規則・要綱					
	相生市立市民プール条例 相生市立市民プール条例施行規則					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	542,924	611,990	519,032	560,310	560,310	560,310
事業費計	6,200,000	6,246,200	6,101,000	6,500,000	6,500,000	6,500,000
フルコスト	6,742,924	6,858,190	6,620,032	7,060,310	7,060,310	7,060,310

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	6,742,924	6,858,190	6,620,032	7,060,310	7,060,310	7,060,310
事業費計ー特定財源	6,200,000	6,246,200	6,101,000	6,500,000	6,500,000	6,500,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】市民プール利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400
単年度実績値	1,897	2,238	3,001			
前年比	—	117.97%	134.09%	—	—	—
単年度達成率	55.79%	65.82%	88.26%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		市民プール利用者1人あたりのフルコスト				
単位		円／人				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	1,983.2129	2,017.1147	1,947.0682	2,076.5618	2,076.5618	2,076.5618
単年度実績値	3,554.5198	3,064.4281	2,205.942			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	利用人数は大きく増加し、利用者は快適に利用することができた。	あり
有効性	B: 比較的有效である	指定管理者制度を導入することにより、利用者にとって魅力のある管理運営が図られている。	あり
効率性	A: 効率性が高い	指定管理者制度を導入し、コスト削減を図っている。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B: 比較적透明性を確保している	ホームページや広報誌により、イベント情報等の情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201040003	事務事業名	市民グラウンド管理運営事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市民グラウンドの管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。		
対象	市民、市民グラウンド利用者		
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、スポーツの場を提供する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市民グラウンド条例 相生市民グラウンド条例施行規則		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36
会計年度任用職員数	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
人件費計	2,541,735	2,856,482	2,440,517	2,655,097	2,655,097	2,655,097
事業費計	3,896,321	9,179,164	5,570,381	4,473,000	4,473,000	4,473,000
フルコスト	6,438,056	12,035,646	8,010,898	7,128,097	7,128,097	7,128,097

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	509,437	400,000	660,000	660,000	660,000	660,000
フルコストー特定財源	5,928,619	11,635,646	7,350,898	6,468,097	6,468,097	6,468,097
事業費計ー特定財源	3,386,884	8,779,164	4,910,381	3,813,000	3,813,000	3,813,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】市民グラウンド利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
単年度実績値	15,917	17,761	16,718			
前年比	-	111.58%	94.12%	-	-	-
単年度達成率	88.42%	98.67%	92.87%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1		市民グラウンド利用者1人あたりのフルコスト				
単位		円／人				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	357.6698	668.647	445.0499	396.0054	396.0054	396.0054
単年度実績値	404.4767	677.6446	479.178			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	利用団体との協働により、良好な施設活用が図られている。	あり
有効性	B: 比較的有效である	屋外型施設のため、天候により利用件数等が大きく左右される。	あり
効率性	A: 効率性が高い	施設の老朽による軽微な不具合は発生しているが、早期発見対処により効果的に最小限の費用で対応できている。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B: 比較的可見性を確保している	ホームページや広報誌により、イベント情報等の情報提供を行っている。	あり

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	利用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の削減に努める。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の削減に努める。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201040004	事務事業名	温水プール管理運営事業			
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり			
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る			
部名	教育委員会	課名	体育振興課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	指定管理者制度により民間事業者による、温水プール維持管理運営業務を行う。					
対象	市民、温水プール利用者					
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、健康維持の増進、スポーツの場を提供する。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立温水プールの設置及び管理に関する条例 相生市立温水プールの設置及び管理に関する条例施行規則					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	2,035,966	2,294,963	1,946,373	2,101,164	2,101,164	2,101,164
事業費計	30,651,099	21,757,354	71,792,753	100,377,000	22,377,000	22,327,000
フルコスト	32,687,065	24,052,317	73,739,126	102,478,164	24,478,164	24,428,164

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	2,000,000	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	61,500,000	0	0
その他	514,800	514,000	514,000	514,000	514,000	514,000
フルコストー特定財源	32,172,265	21,538,317	73,225,126	40,464,164	23,964,164	23,914,164
事業費計ー特定財源	30,136,299	19,243,354	71,278,753	38,363,000	21,863,000	21,813,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】温水プール利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	100,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
単年度実績値	98,854	120,208	124,422			
前年比	—	121.6%	103.5%	—	—	—
単年度達成率	98.85%	80.13%	82.94%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		温水プール利用者1人あたりのフルコスト				
単位		円/人				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	326.8707	160.3488	491.5942	683.1878	163.1878	162.8544
単年度実績値	330.66	200.0892	592.6534			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	利用人員も増加し、利用者は快適に利用することができた。	あり
有効性	B: 比較的有效である	指定管理者制度を導入することにより、利用者にとって魅力のある管理運営が図られている。	あり
効率性	A: 効率性が高い	指定管理者制度を導入し、コスト削減を図っている。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B: 比較적透明性を確保している	ホームページや広報誌により、イベント情報等の情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201040006	事務事業名	社会体育振興事業			
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり			
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る			
部名	教育委員会	課名	体育振興課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	各種競技スポーツの推進、スポーツクラブ21ひょうごの推進、国際大会、全国大会出場選手に対する優秀選手激励制度の運用に取り組む。					
対象	市民					
目的	市民が暮らしの中で体力づくりや健康保持等、それぞれの目的に合わせたスポーツを生き生きと活動できるようにする。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令						

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
会計年度任用職員数		0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
人件費計		4,566,164	5,133,534	4,381,938	4,762,622	4,762,622	4,762,622
事業費計		1,744,841	2,010,469	2,052,525	2,471,000	2,471,000	2,471,000
フルコスト		6,311,005	7,144,003	6,434,463	7,233,622	7,233,622	7,233,622

(2) 歳入

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	319,000	225,000	150,000	115,000	115,000	115,000
フルコストー特定財源		5,992,005	6,919,003	6,284,463	7,118,622	7,118,622	7,118,622
事業費計ー特定財源		1,425,841	1,785,469	1,902,525	2,356,000	2,356,000	2,356,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【量】市民体育大会等実施数					
単位		種目					
指標数値のめざす方向		維持					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		19	19	19	19	19	19
単年度実績値		15	17	18			
前年比		—	113.33%	105.88%	—	—	—
単年度達成率		78.94%	89.47%	94.73%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		市民体育大会等1種目あたりのフルコスト				
単位		円／種目				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	332,158.1579	376,000.1579	338,655.9474	380,716.9474	380,716.9474	380,716.9474
単年度実績値	420,733.6667	420,235.4706	357,470.1667			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	スポーツ種目を幅広く網羅し、事業を実施できている。 全国大会等出場選手を激励することにより、今後の選手の活躍および競技種目の発展に期待できる。	あり
有効性	B: 比較的有效である	各制度の運用、各種振興事業とも適切に実施されている。	あり
効率性	B: 比較的效率的である	優秀選手激励制度については、制度の趣旨を損なわないようにしつつコスト削減に努める。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	各団体の自主的な運営が進むよう、情報共有をはじめとした連携が必要である。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報誌により、事業情報等の情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりが年齢や体力に応じて、生き生きとスポーツを行えるよう継続して実施していく。
休止・廃止となったときの影響	事業委託料が大半を占めており、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりが年齢や体力に応じて、生き生きとスポーツを行えるように支援することは重要であるため継続して実施していく。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201040007	事務事業名	ジュニアスポーツ振興事業			
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり			
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る			
部名	教育委員会	課名	体育振興課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	小中学生の基礎体力の低下が精神面や人間形成、学力の低下にまで影響を及ぼしている中、児童や生徒に対し、学校体育だけではなく、広くスポーツに接する機会を提供する。					
対象	市民(ジュニア層)					
目的	子ども達のスポーツへの関心が高まり、学校で地域で家庭で生き生きとしたスポーツ活動を展開する。特に小中学生のスポーツ人口の増加と基礎体力の向上を目指す。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令						

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63
会計年度任用職員数	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13
人件費計	4,458,598	5,009,830	4,282,142	4,660,745	4,660,745	4,660,745
事業費計	538,740	1,626,390	1,650,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
フルコスト	4,997,338	6,636,220	5,932,142	6,260,745	6,260,745	6,260,745

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	319,000	330,000	295,000	265,000	265,000
フルコストー特定財源	4,678,338	6,306,220	5,637,142	5,995,745	5,995,745	5,995,745
事業費計ー特定財源	219,740	1,296,390	1,355,000	1,335,000	1,335,000	1,335,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】ジュニアスポーツ振興事業数					
単位	事業					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	14	14	14	14	14	14
単年度実績値	6	12	14			
前年比	—	200%	116.66%	—	—	—
単年度達成率	42.85%	85.71%	100%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		ジュニアスポーツ振興事業1事業あたりのフルコスト				
単位		円／事業				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	356,952.7143	474,015.7143	423,724.4286	447,196.0714	447,196.0714	447,196.0714
単年度実績値	832,889.6667	553,018.3333	423,724.4286			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	ジュニア対象の事業を実施し、体力向上の機会を提供できている。	あり
有効性	B: 比較的有効である	大会や教室への参加により、競技力の向上が図られている。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	委託事業とし、専門的な意見を取り入れることで効率的な運営を行った。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	少子化と種目の多様化により、参加人数に影響がでているため、関係団体との連携、調整により日程や事業内容を検討する。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報誌により、事業情報等の情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	スポーツを通じた青少年育成の観点からもスポーツを楽しむことのできる環境の場を提供していく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	学校教育以外でのスポーツに親しむ機会が少なくなり、スポーツの楽しさや技術の向上に寄与する場が提供できなくなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	生涯にわたりスポーツが楽しめるよう、幼少期からスポーツに触れる機会の提供や、ジュニアを対象としたスポーツ教室や大会などを実施していく必要がある。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201040008	事務事業名	レクリエーションスポーツ振興事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市民誰もが暮らしの中での体力づくりや健康維持等、スポーツを取り入れやすいように、レクリエーションスポーツに親しめる場の確保や大会等の開催を行う。		
対象	市民		
目的	誰もが自分にあった形で生活の中にスポーツを取り入れる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77
会計年度任用職員数	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21
人件費計	5,521,373	6,197,987	5,310,302	5,794,088	5,794,088	5,794,088
事業費計	2,411,164	3,290,982	3,387,451	3,570,000	3,570,000	3,570,000
フルコスト	7,932,537	9,488,969	8,697,753	9,364,088	9,364,088	9,364,088

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	319,000	465,000	465,000	470,000	470,000	470,000
フルコストー特定財源	7,613,537	9,023,969	8,232,753	8,894,088	8,894,088	8,894,088
事業費計ー特定財源	2,092,164	2,825,982	2,922,451	3,100,000	3,100,000	3,100,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】レクリエーションスポーツ振興事業数					
単位	事業					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	20	20	20	20	20	20
単年度実績値	15	19	20			
前年比	-	126.66%	105.26%	-	-	-
単年度達成率	75%	95%	100%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1		レクリエーションスポーツ振興事業1事業あたりのフルコスト					
単位							
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		396,626.85	474,448.45	434,887.65	468,204.4	468,204.4	468,204.4
単年度実績値		528,835.8	499,419.4211	434,887.65			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	レクリエーションスポーツへの興味や参加意識が高く、参加数は安定している。	あり
有効性	B: 比較的有効である	市民一人ひとりが主体的に行うレクリエーションスポーツについて、スポーツをする場の提供やきっかけづくりなどの側面支援を行うことができた。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	市民ニーズや流行を把握、分析しながらスクラップアンドビルドを行い、ニュースポーツの普及等、事業の効果を高める必要がある。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	高齢化社会に対応すべき、目標達成のため事業内容と運営方法について関係団体と検討する。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報誌により、事業情報等の情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。
休止・廃止となったときの影響	事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	010201040009	事務事業名	スポーツ教室事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	スポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供する。		
対象	市民		
目的	初心者を対象としたスポーツ教室を開催することで、スポーツに関心をもってもらい、基礎的な知識と技術の習得および健康増進につなげる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令 スポーツ基本法		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
会計年度任用職員数	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
人件費計	576,179	634,753	569,051	649,432	649,432	649,432
事業費計	817,290	799,500	798,726	1,067,000	1,067,000	1,067,000
フルコスト	1,393,469	1,434,253	1,367,777	1,716,432	1,716,432	1,716,432

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	570,000	750,000	750,000	600,000	600,000	600,000
フルコストー特定財源	823,469	684,253	617,777	1,116,432	1,116,432	1,116,432
事業費計ー特定財源	247,290	49,500	48,726	467,000	467,000	467,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質・量】スポーツ教室参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	280	280	280	280	280	280
単年度実績値	239	255	262			
前年比	—	106.69%	102.74%	—	—	—
単年度達成率	85.35%	91.07%	93.57%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1	スポーツ教室参加者1人あたりのフルコスト					
単位	円／人					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	4,976.675	5,122.3321	4,884.9179	6,130.1143	6,130.1143	6,130.1143
単年度実績値	5,830.4142	5,624.5216	5,220.5229			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	スポーツ教室は健康を維持し、生涯にわたりスポーツを楽しむという面からも有意義である。	なし
有効性	B: 比較的有效である	参加者数は昨年度より増加し、6教室を開講することができた。有料であるため出席率は比較的高いが、教室の実施内容によっては参加者数増加にまだ向上の余地がある。	あり
効率性	A: 効率性が高い	各教室とも開催時期は4～7月、9～12月、1～3月の3期、開催回数は1期あたり10回、開催時間は1回あたり90分と、教室の開催時期や回数、時間ともに最適である。	なし
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	これまで参加することができなかった働き世代に向け、受講しやすい夜間帯に教室の開講を行っている。	あり
透明性	B: 比較적透明性を確保している	ホームページや広報誌への掲載、幼稚園へのチラシ配布により、広く教室開催等の情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	スポーツを気楽に楽しめる機会と場を通じて、健康及び体力の保持のみならず、自分もできるという経験から自信が生まれ、また、人と人との触れ合いから仲間意識や人の温かみを感じる機会が生まれる。
休止・廃止となったときの影響	類似の教室がないため、スポーツの場を提供できなくなり、スポーツに自発的に参画する機会が失われ、心身の健康増進等の妨げとなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	当事業は費用対効果に優れた事業である。スポーツ人口の裾野の拡大や市民が気楽にスポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続が必要である。